

ろくおん 通信

2023年12月1日発行

発行 日本ライトハウス情報文化センター

録音製作係

発行責任者 竹下 亘

電話 06-6441-1017

FAX 06-6441-1027

http://www.iccb.jp/

No.260

今号の内容

- ◎ デイジー図書製作で気をつけること：その1 図書の構成 …………… 1ページ
～全視情協大会・録音分科会参加報告～
- ◎ わかる 使える 広がる！ デイジー図書徹底解説（第42回）…………… 5ページ
最終校正(デイジー校正)のポイント：原本の見出しに番号を付加して読むケース

デイジー図書製作で気をつけること その1

～全視情協大会・録音分科会参加報告～

録音製作係 木田陽子

10月10日・11日に全国視覚障害者情報提供施設大会（全視情協大会）が山形市で開かれ、4年ぶりに全国の施設職員など約180人が会場に集まりました。今年の録音分科会担当プログラムのテーマは「みんなで考えよう「サピエ図書館」の録音図書の質について ～審査を改善のチャンスに！ 課題・解決策を共有して今後の力に変える～」。録音図書製作の担当者約50人が出席し、「サピエ図書館」に登録されている音声デイジー図書を審査する側と、その審査を受けた側の両方の立場からの事例報告を聞きました。

本題に入る前にまず、テーマに含まれている「審査」について少し説明したいと思います。「全視情協」は点字図書・録音図書などを製作している施設・団体の全国的な集まりですが、その中に置かれている専門委員会のひとつが「録音分科会」です。録音分科会ではいろいろなプロジェクトを主催していて、その中に『「サピエ図書館」登録音声デイジーデータ審査プロジェクト』というものがあります。既に「サピエ図書館」に登録されている音声デイジー図書が「「サピエ図書館」登録音声デイジーデータ製作基準」に則って製作されているかをプロジェクト会議のメンバーが審査し、製作施設・団体にフィードバックを行うものです。9月末の時点では、対象となる87施設のうち27施設分の審査が終わったとのことでした。

今回この「審査」の内容を分科会で取り上げることに決まったのは、まだ全体の3分の

1程度しかチェックが終わっていない中で、残りの3分の2の施設にもこれまでの審査結果を共有することで、審査を受ける前から品質の改善に取り組んでもらえるようにしたい、という思いがあったからだと思います。当館はまだ審査の順番が回ってきていません（ドキドキしながら待っているところです…）。ということで、分科会参加のご報告を兼ねて、どんなところにつまずくポイントがあって、どんなところに注意して製作していけばよいかを何回かにわたって紹介していきたいと思います。「製作基準」の原文は、全視情協のホームページからご覧ください（https://www.naiiv.net/recording_standard/）。

その1 図書の構成

まず今月は、「録音すべき項目」と「録音の順序」、そして「デイジー図書凡例」についてを扱いたいと思います。

審査では以下のような内容がチェックされています。

録音すべき項目と順序
① 始めの枠アナウンス 書名（副書名・シリーズ名・巻次・回次・年次）・著者名（編者名・訳者名）
② 著作権処理に関する事項 【※ 2022年10月改訂の製作基準では第1セクション、つまり「始めの枠アナウンス」のすぐ後で読むことになっています。】
③ デイジー図書凡例
④ 原本の記載順序に基づいて録音
⑤ デイジー図書奥付 書名（副書名・シリーズ名・巻次・回次・年次）・製作施設名・製作完了年月
①～⑤の順で録音
デイジー図書凡例
凡例通りに構成されているか。

審査の際、こんな問題点が見つかっています。

① 始めの枠アナウンス

・副書名以降の読み忘れ

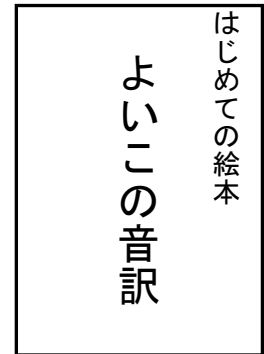
どんな内容の図書かという情報は重要ですし、書名が同じ場合に副書名で判別することもあります。たとえば当館の書庫には、書名が全く同じである次の2タイトルを所蔵しています。副書名まで音声情報があれば、両方を一度に借りた時にも、最初の1フレーズ分の音声を聞けばどちらのCDかがわかります。

書名：平家物語
副書名：無常を聞く
(杉本秀太郎[著]、講談社)

書名：平家物語
副書名：古典への旅
(生形貴重著、五月書房)

・「サピエ図書館」の書誌情報の通りに読んでいない

右の図のような表紙の墨字図書があったとします。
右から順番に「はじめての絵本 よいこの音訳」と読みたくなりますが、実は「はじめての絵本」が副書名、「よいこの音訳」が書名だった、ということもあります。当館では「書誌カード」を作成していますので、読み順についてはそれを参照してください。



③ デイジー図書凡例

・階層の情報に誤りがある (レベル3まで分けているのに「レベル2まであります。」など)

後から階層分けを変更した場合、凡例の文言を修正し忘れることがあります。

・目次の見出しに、原本には書かれていない見出し番号を付けている → デイジー図書凡例でその旨を説明しておくのが良い

階層分けがわかりやすくなるように音訳者が独自に見出し番号を付けた場合には、当館での読み方「(レベル〇の) 見出しに番号を付けて読んでいます。」を凡例に入れてください。

・写真などを、原本とは違う場所に移動して読んでいる → 「本文中の適当な位置で読み込んでおり、原本の位置とは異なる」ということをデイジー図書凡例で説明しておくが良い

当館では、写真の説明をする際に「〇ページ、原本△ページ 写真。」と読むことで、原本での元の場所がわかるようにしています。

・ページ付けをするフレーズを、「原本のページが変わる場所の直近フレーズ」ではなく「見出し」にしている場合は凡例で説明しておくが良い

当館では原則として、ページの境目前後の2行(前のページの最終行と、該当ページの最初の行)に近いフレーズにページの印を付けていますので、特に断る必要はありません。

・セクションの最後に「デイジー図書凡例、終わり。」の文言が録音されていない

これも、うっかり入れ忘れることがあります。凡例のほかにも「著者紹介。……著

者紹介終わり。」「原本奥付。……原本奥付終わり。」と、終わりの文言を読むようにしてください。ただし「終わりの粹」から名前が変更になった「デイジー図書奥付」については、「終わり」の文言はありませんのでご注意ください。

・「デイジー図書凡例」とは別に「音訳者（朗読者）からのお断り」というセクションを立てている → 今後は「デイジー図書凡例」に含める

当館でも昔、内容によって「デイジー図書凡例」と「録音図書凡例」とに分けていた時期がありましたが、現在は、利用者にあらかじめ知っておいてほしい事柄については、全て「デイジー図書凡例」に入れています。

④ 原本の記載順序に基づいて録音

・目次を、原本通りではない位置（デイジー図書凡例のすぐ後ろなど）に読んでいる
→ 読み順を変更している旨をデイジー図書凡例で断っておく必要あり

当館でも10月の製作マニュアル更新の際に一番大きく変えた部分です。No. 256（2023年4月発行）にも書きました通り、原本通りの場所で目次を読んだとしても、デイジー図書であればレベル1での移動ですぐにたどり着けると考えられますので、いろいろと検討した結果、目次は原本通りの位置で読むことにいたしました（11月1日以降に打ち合わせをした図書が対象です）。

・索引が省略されている

索引は「用語」と「ページ数」の読みの繰り返しになるので、敬遠されることが多い項目かと思います。ただ、デイジー図書の専用再生機あるいはパソコン用ソフトウェアにページ数を入力すれば、そのページに飛べるようになっています。専門書などでは、用語の使われている箇所を聞いて調べものをするという使い方が想定されます。用語とページ数を何度も何度も読むのはちょっと“退屈”、あるいは“難しそう”で読みづらい、と感じるかもしれませんが、利用者がデイジー図書を最大限活用できるように、索引の音訳にもぜひチャレンジしてください。

・本文が終わった後にあらすじ紹介を入れている → 読む前に知りたい情報であるので、もっと前（例えばデイジー図書凡例の後など）に入れた方が良い

あらすじは原本の裏表紙側に書かれていることが多いですが、読む前に「どんな内容の本かな」、「自分の知りたいことが書かれているかな」と思いながらチェックする箇所だろうと思います。そう考えると、本文の最初の方（上記「デイジー図書凡例の後など」）に入れるのが良いですね。

⑤ デイジー図書奥付

・製作年しか録音されていない（月が入っていない）

サピエ図書館の「製作基準」では、「製作年月」まで録音されていればOK（日

は任意)、ということになってはいますが、当館ではこれまで通り年月日まで入れて、「製作 2023年12月1日。」のようにします。

次回は「録音技術」の分野について扱う予定です。



わかる 使える 広がる！ デージー図書徹底解説(第42回)

図書の特徴に合ったデージー校正のポイントを紹介するこのコーナー。今回は、「原本の見出しに番号を付加して読むケース」についてです。音訳、校正、編集、デージー校正の各シーンにおける注意点をまとめています。

Q 原本の見出しに番号を付加する場合について

(音訳者・編集者・デージー校正者から)

当館の「デージー図書 録音の順序」3ページと、「デージー図書 編集のルール」3ページに、原本の見出しに番号を付加して読む場合のデージー図書凡例のコメント例が記載されていますが、どういうケースでしょうか。

A 「原本の見出しに番号を付加して読む」ことが必要になるのは、原本通りの見出しでは見出しの大小関係がわからない場合で、主に以下のようなケースです。

① 見出しに番号のついていない階層が2つ以上ある場合

※ 音訳前の打ち合わせの段階で、番号を付加するかどうかの方針を決めます。

原本の見出しの例 レベル2、レベル3の項目共に番号が付いていない場合

レベル1 「第1章 ○○○ 3ページ」

レベル2 「□□□ 4ページ」

レベル3 「△△△ 6ページ」

<方法1> レベル2の項目に番号を付ける

レベル2 「1 □□□ 4ページ」または、「(1) □□□ 4ページ」

レベル3はそのままです

◆デイジー図書凡例のコメント◆

「この図書の階層はレベル3まであります。レベル2の見出しに番号を付けて読んでいます」

<方法2> レベル2、レベル3両方の項目に番号を付ける場合もあります

レベル2 「1 □□□ 4ページ」

レベル3 「(1) △△△ 6ページ」

◆デイジー図書凡例のコメント◆

「この図書の階層はレベル3まであります。レベル2とレベル3の見出しに番号を付けて読んでいます」

② 目次にない小項目をレベル立てすることになったために、レベル2とレベル3の項目ともに見出しに番号がない結果となった場合

※ 番号を付加した見出しと、「デイジー図書凡例」のコメントの両方の修正が必要になります

原本の見出しの例

レベル1 「第1章 ○○○ 3ページ」

レベル2 「□□□ 4ページ」

レベル3 「△△△」 → 目次にない小項目なので、ページを読み込むことはしません

<方法> レベル2の項目に番号を付ける

「1 □□□ 4ページ」 または、「(1) □□□ 4ページ」

レベル3はそのままです

◆デイジー図書凡例のコメント◆

「この図書の階層はレベル3まであります。レベル3は目次にない小項目です。レベル2の見出しに番号を付けて読んでいます」

【音訳者へ】① (最初に音訳した際は番号を付けておらず、編集段階で提案があった場合、) 番号を付加した見出しの追加録音の依頼があります。「1, 2, 3・・・」や「(1)、(2)、(3)・・・」と番号のみ読んでもらうこともありますが、番号を付加した見出し全部を読み直す場合もあります。

② デイジー図書凡例の追加録音の依頼があります。

【校正者・デイジー校正者へ】 原本通りの見出しの読み方で、見出しの大小が分かるかどうかの校正もお願いします。

【編集者へ】 編集開始後に、目次がない小項目をレベル化することになった場合は、見出しに番号を付加する必要がないかどうか再度ご確認ください。



館からのお知らせ

★ 「Zoom でなんでも相談」 12月・1月の開催予定

以下の日の14～16時に開催予定です（参加人数や質問の量によっては16時以前に終了する可能性あり）。

12月 6日（水）、 7日（木）、 8日（金）
20日（水）、 21日（木）、 22日（金）
1月17日（水）、 18日（木）、 19日（金）

事前申し込みは不要（Zoom ミーティング ID 等は変更なし）。6階休憩スペースにパソコンを設置していますので、来館時も参加可能です。雑談だけでも大歓迎です！

皆様のご参加をお待ちしています。

★ 12月2日（土）「ウェブスタジオ・なにわ」が一時使えなくなります

12月2日の午前中に「ウェブスタジオ・なにわ」のメンテナンス作業が行われることになりました。作業中はトップページ（ID とパスワードを入力する画面）や「音訳データ送信」、「進捗状況」など、全ての画面が表示されなくなります。「メンテナンス中」の表示が出た場合には、お手数ですが時間を変えてアクセスしていただきますようお願いいたします。

★ 6階に加湿器を導入しました

11月下旬から暖房を入れているため、乾燥予防に電動の加湿器を使い始めました。また、フィルターから水が自然に蒸発するタイプの小型加湿器をスタジオ用に準備しています（丸い形と色から「…メロン？」という声も）。スタジオで加湿器をお使いになる際には職員までお声をおかけください。

★ 講習会のご案内

詳細は録音製作係（電話：06-6441-1017、メール：rec@iccb.jp）までお問い合わせください

い。それぞれの募集要項は、当館ホームページ (<http://www.lighthouse.or.jp/iccb/>) にも掲載しております。

■ 第36回 専門音訳講習会「音声デジター編集コース」

既に音訳・朗読ボランティアの活動を始めている方向けに、毎日新聞大阪社会事業団と当館が主催する講習会です。専用ソフトウェアを使ったデジター編集作業と、製作した図書の校正方法について、実習を行います（パソコンはご自身のものをお持ちください）。

日 程：2024年2月1日（木）、8日（木）、15日（木） 全3回
10～15時（途中、昼食休憩あり）

定 員：10人

費 用：1,200円（資料代）

申込締切：2024年1月13日（土）必着

■ 音訳ボランティア養成講習会（1）

当館でのボランティア活動を志す方を対象とした入門講習です。初めての方向けですので、音訳活動に興味をお持ちの方がお近くにいらっしゃいましたら、ご紹介いただければ幸いです。

日 程：2024年4月10日～7月31日の毎週水曜日（5月1日を除く）
全16回、13時～14時50分

定 員：12人程度

費 用：7,000円（講習初回に納めていただきます）

申込締切：2024年2月1日（木）必着

受講前テスト：事前に筆記試験・マイクテストを行います（2月27日（火）午後、
28日（水）午前・午後、29日（木）午前・午後）

★ 年末年始の休館について

12月28日（木）～1月8日（月）の間は、6・7階ともにボランティア活動を休止いたします。活動再開は1月9日（火）からとなります。

（12月28日（木）：機器整備のため、ボランティア活動を休止
12月29日（金）～1月4日（木）：年末年始全館休館
1月 5日（金）：職員研修を行うため、ボランティア活動を休止
1月 6日（土）：1月8日（成人の日）の振替で休室

今年度は活動できない期間が長くなってしまい申し訳ございません。
何とぞご了承ください。